

# 正しい理解で納得の治療を受けて欲しい インプラント治療の現在

歯科医療で注目されているインプラント治療だが、患者が納得できる治療をしてもらうためにはどうしたらいいか気になる。そこで、浅賀歯科医院（埼玉県越谷市で開業）理事長で日本大学客員教授の浅賀寛先生と、ライオンインプラントセンター（神奈川県海老名市、東京都町田市で開業）理事長で日本大学松戸歯学部臨床教授の鈴木仙一先生に「患者が納得できるインプラント治療の現在」をテーマに浅賀歯科医院で対談していただいた。

## 残存歯に負担をかけない インプラント治療

インプラント治療が、注目されています。

浅賀 いままで歯科医療は、歯がなくなつた場合、ブリッジにしろ入れ歯にしる残存の歯を利用しない限り歯ができませんでした。残っている歯を利用するため、その歯の寿命が短くなっていました。

インプラント治療は、残存歯に負担をかけるだけで欠損部位だけに歯をつくりません。

鈴木 今のインプラント治療は、10年は維持される確率が高い治療です。

浅賀 埋入時にスターティングポイントがずれてしまえば、インプラント治療はうまくいきません。0コンマ5ミリが大事な世界です。だから、どこにインプラントドリルが入っているかがわからないとできません。

浅賀歯科医院 理事長  
日本大学客員教授

浅賀 寛 先生 あさか・ひろし ●日本大学歯学部卒業。日本大学客員教授。歯学博士。厚生労働省認定歯科医師臨床研修指導医。日本口腔インプラント学会評議委員など



鈴木 患者さんによって骨の形や質が違います。そういった中で患者さんにとつてもっともよいやり方を選択していかねばなりません。

骨造成のサイナスリフトで、上顎洞を持ち上げるときも、上顎洞の粘膜の厚さが人によって違います。上顎洞の床も、スムーズな人とザラザラの人など、いろいろタイプがあります。このため経験だけではだめで、基礎やルールをきちんと勉強していないときれいに仕上げるのができません。

浅賀 上顎洞の膜は生卵の膜の薄さで、これを破らずに、その下に骨を足すわけですから、かなりむずかしい技術といえます。

## インプラントが進化した オールオン4

インプラント治療は、さらに進化しています。

鈴木 2000年に入つて、痛くない、腫れない、早く歯がほしいという治療の要請が高まってきました。そこで、インプラントを植立し、同時に歯を入れてかめるようにしてしまう方法が登場しました。歯があれば、それを抜歯して即時埋入し、即時負荷ができるようになったわけです。

総入れ歯の方を対象に1日で歯ができる技術も開発されました。最低4本で12本の歯を支えるため、オールオン4と呼ばれています。従来は1本の歯に対して1本のインプラントを入れて



ライオンインプラントセンター 理事長  
鈴木仙一先生 すずき せんいち ●1984年、日本大学松戸歯学部卒業。日本大学松戸歯学部臨床教授、南カリフォルニア大学歯学部客員臨床教授、濱州医科大学口腔病院名誉教授。中国、ドイツ国際インプラントアカデミー准教授。歯学博士。ISO代表、ICOI (International Congress of Oral Implantologists) 日本代表兼アジア太平洋地区副会長

いたのですが、オールオン4は最少4本で足りません。患者さんが望む技術革新などといえるでしょう。

浅賀 原則は上顎の場合、4本では厳しいですから、8本のインプラントが必要になります。下顎は6本です。それを4本で支えようというのですから、オールオン4は非常にむずかしい治療法です。だから、しっかり勉強して力をもつた人によってほしいですね。

鈴木 インプラントを傾斜して入れる精度の高い治療ですから、技術力がなると対応できません。

## 信頼できる歯科医師の見分け方のポイント

信頼できる歯科医師とは？

**浅賀** 歯科医師はインプラントだけでなく、残存歯のコントロールもできる能力が必要になります。むし歯や歯周病や根っこの治療がしっかりできるとか咬合を理解しているとか、歯科の基本が徹底できている歯科医師がはじめてインプラント治療もできるといえます。歯科一般のベジックの上にあるのがインプラント治療です。

**鈴木** 口腔内の変化に基づいて、かみ合わせや歯と歯の間の隙間をチェックしていかないとインプラントがうまくなじみません。インプラント治療は歯科治療の王様みたいなものです。いろいろ学んで身に付け、1つの口の中を診たとき、さまざまな手段が取れるようになってはじめてできる治療だと思えます。

**日本口腔インプラント学会では、専門医制度を設けています。**

**浅賀** 学会のテーマの1つが、「信頼性ある口腔インプラント専門医」の認定です。専門医になるためには、100時間の認定コースを受けた上で、学会に5年間所属し、論文を3編と20症例を提出して試験を受ける必要があります。2010年12月現在、学会の専門医は646名います。

**鈴木** 専門医の資格を継続更新(5年ごと)するのも非常に高いハードルをクリアする必要があります。学会には、この半年で1000人以上が加盟しました。

**浅賀** 年間何本とか、1本いくらでやっているとかを売りものにするのではなく、

## インプラント治療の現在

日々勉強してセミナー等で自分を高めようと努力している先生がいいですね。自分のことばかり考えて私利私欲だけを追求するのではなく、歯科医師の人間性が問われていると思います。専門医認定についても、知識と技術と人間性の3つを評価のポイントとしてチェックします。

**鈴木** インプラントは、単に入ればいいというのではなく、口腔内を全体的に診ていないとだめです。それから、失敗したときの経験、フォロー体制がないとむずかしいといえます。

日本口腔インプラント学会は信頼性の高い学会です。国際インプラント学会(ICOI)も同様です。日本口腔インプラント学会のホームページを開くと、各地域ごと専門医の名前が出てきますから、ぜひ参考にしてください。

**浅賀** 専門医で、かつ経歴をみて、それで判断するのが歯科医師選びの1つの指標ですね。専門医になった人も常に勉強し、謙虚な気持ちをもってやっていって欲しいと思います。

取材/秋山晴康

### インプラントの構造

